

講義コード	515100101	
講義名	音楽I AB	
(副題)		
開講責任部署	幼児教育科 (短大)	
講義開講時期	前期	
基準単位数	1	
時間	0.00	
代表曜日	火曜日	
代表時限	3時限	
科目分類名	専門科目	
科目分野名	教科に関する科目	
対象学部・年次	短期大学部・1～2年	
必須/選択	必修	
担当教員		
職種	氏名	所属
専任教員	井上 修	指定なし
専任教員	教務委員会 (短大)	指定なし

## 授業の概要

幼稚園教育要領「表現」が求める、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにするために、歌詞の情景や季節感、色彩感など歌の世界観を味わうことで、より表現豊かな音楽活動が展開できるものとする。

本科目では曲の背景を理解したうえで弾き歌いが実施できるよう歌詞にまつわる知識と、正しく楽譜を理解するための楽典の知識を学び、表現豊かな演奏スキルの習得を目指す。

## 授業の到達目標及びテーマ

この授業では保育の現場での音楽活動で必要とされる基礎的な知識や実践力の習得を目標としている。

童謡や季節の唱歌など、現場で子供たちに教えるために最低限必要とされるレパートリーを取り上げ、楽譜を読むのに必要な楽典の知識なども学ぶことで、新しいレパートリーでも楽譜からアプローチできる能力を身につけ、現場での音楽を通じた表現活動に応用できる。

## 授業計画表

回	項目	内容
第1回	●ガイドダンス ●ピアノグレード表 グレード1-実習課題	●幼児保育現場での音楽教育について ●おはよう/おかえりのうた/おべんとう/おはようのうた/おやつ/さよならのうた
第2回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン① レッスン1 ●ピアノグレード表 グレード1-A・B	●五線 音部記号 大譜表 ●ぶんぶんぶん/こぎつね/どんぐりころころ/とんぼのめがね/すうじの歌/雨だれぽったん
第3回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン① レッスン2 ●ピアノグレード表 グレード1-C・D	●音符の種類 付点 変化記号 ●豆まき/ふしぎなポケット/山の音楽家たなばたさま/まつぼっくり/はたけのポルカ
第4回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン① レッスン3 ●ピアノグレード表 グレード1-E・F	●休符 小節 縦線 終止線 反復記号 ●こおろぎ/たきび/夕焼け小焼けこいのぼり/あくしゅでこんにちは/かたつむり
第5回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン① レッスン4 ●ピアノグレード表 グレード1-G・H	●拍子記号 ●ぞうさん/お正月/つき/先生とおともだち/うんどうかい/虫のこえ
第6回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン① レッスン5 ●ピアノグレード表 グレード2-I・J	●音名と階名 ●しゃぼん玉/とけいのうた/めだかのがっこう/大きなたいこ/ありさんのおはなし/一年生になったら
第7回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン① レッスン6 ●ピアノグレード表 グレード2-K・L	●音の高さの表記 高音域&低音域の表記 ●やきいもグーチーパー/てをたたきましょう/おはながわらった/うみ/はをみがきましょう/おつかいありさん
	●ぴあののアトリエ楽典レッスン	●ダ・カーポ ダル・セーニョ コーダマーク

第8回	① レッスン7 ●ピアノグレード表 グレード 2-M・N	●ハッピーバースデー・トゥーユー/アイアイ/雪のペンキ屋さん/やぎさんゆうび ん/雪/こぶためきつねこ
第9回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン ① レッスン8 ●ピアノグレード表 グレード 2-O・P	●音程（1）音程とは？ ●オバケなんてないさ/南の島のハメハメハ大王/思い出のアルバム/おんまはみんな/そうだったらいいのにな/コンコンクシャンのうた
第10回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン ① レッスン9 ●ピアノグレード表 グレード 2-Q・R	●音程（2）「長」「短」系の音程 2、3、6、7度 ●あめふりくまのこ/うれしいひなまつり/森のくまさん/バスごっこ/ミッキーマウス マーチ/きのこ
第11回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン ① レッスン10 ●ピアノグレード表 グレード 3-S・T	●音程（3）「完全」系の音程 1、4、5、8度 ●おかあさん/山のフルーツ/カレンダーマーチ/とんでったバナナ/せかいじゅうのこども たちが/おもちゃのチャチャチャ
第12回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン ① レッスン11 ●ピアノグレード表 グレード 3-U・V	●音程（4）＃と♭のついた音程 ●みずあそび/きよしこの夜/宇宙船のうた/かわいいかくれんぼ
第13回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン ① レッスン12 ●ピアノグレード表 グレード 3-W・X	●音程（5）音程の相互関係 ●すてきなパパ/線路は続くよどこまでも/ゆきだるまのチャチャチャ/赤鼻のトナカ イ
第14回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン ① レッスン8～12 ●ピアノグレード表 グレード 3-Y・Z	●音程のまとめ ●ジングルベル/犬のおまわりさん/大きな古時計/ともだち讃歌
第15回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン ① レッスン1～12 ●ぴあののアトリエ楽典レッスン ② レッスン21	●楽典の総まとめ ●コードについて

## 授業時間外の学修

予習として楽典のテキストの事前読了、および取り上げる曲の譜読み、また歌詞の内容や、行事に関連した歌であればその行事について調べる。各回の予習には30分程度かかると想定される。

復習として授業で扱った内容が理解できているかの確認と、自分の知らなかった曲に関しては特に念入りにメロディーと歌詞を覚えてくる。各回の復習には15分程度かかると想定される。

楽典の確認問題や曲の曲の復習を次回以降の授業で実施する。

## 実務経験の有無

## ディプロマポリシーとの関連

①幼児教育者観	②知識・技能	③実践力と実務能力	④人間性と協調性
	◎	◎	

## ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
演習内容の理解 (予習も含む)	自ら進んで教材に関する内容を調べ理解できており、その内容を演習に反映することができる	教材に関する内容を調べ理解できており、その内容を概ね演習に反映することができる	教材に関する予習はやれているが、その内容理解はあいまいな点がある	教材に関する予習が不足しているため、その補充を教員が助言する必要がある
課題への	自分の特性や問題点、課題へ	自分の特性や問題点、課題へのスタンスを理解すること	自分の特性や問題点、課題へのスタンス等が、	教員の支援があっても、な

アプローチ	のスタンスを理解しており、自身の力でまとめることができる	ができ、概ね自身の力でまとめることができる	教員の支援を基にまとめることができる。	かなか自身でまとめることができない。
講義内容の理解	授業内容を100%理解しており、授業内容を超えた自主的な学修が行っていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、自主的な学修も少し行っていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
レポート力（レポート内容）	テーマについて、授業で紹介した方法、もしくはそれに類する独自の手法を使った分析が十分に なされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析が十分に なされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析がなされている	テーマについての分析がなされていない

## 成績評価法（表形式）

	評価基準	備考
定期試験	30%	楽典の内容に関する確認テスト
小テスト等	30%	授業で扱った楽典や曲に関する小テスト
成果発表	10%	合唱等の取り組み
授業への貢献度	10%	演習での役割や積極性
レポート	20%	童謡や唱歌にまつわる行事や伝統についてのレポート
その他		

## 課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
掲示板等に正解と講評を掲載する 授業の中で解説、講評する	掲示板等に正解と講評を掲載する 授業の中で解説、講評する	掲示板等に正解と講評を掲載する 授業の中で解説、講評する

## ICTを活用した双方向型授業の内容

等	クリッカー、アンケート、小テスト
チャット	
用	掲示板の活用

## アクティブラーニングの割合

総授業時間数の30~60%程度のアクティブラーニングである
-------------------------------

## アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
小テストや授業内レポートの活用 調べ学習・調査の活用	実験観察・実習	授業前レポート（予習） 授業後レポート

## 教科書

- 『新版 和音伴奏による 幼児のうた100曲』全音楽譜出版社  
『簡易ピアノ伴奏による実用版 ようちえんほいくえんのうた大集合 決定版』デプロMP  
『ピアノのアトリエ 楽典レッスン（1）』共同音楽出版

『ピアノのアトリエ 楽典レッスン（2）』共同音楽出版

SDGsとの関連

に 4. 質の高い教育をみんな

研究室（訪問先等）

中央研究棟2階 229研究室 第2体育館1階 音楽室

火、水、金が出講日です。直接、研究室もしくは音楽室を訪ねてください。

電話番号

028-667-7111（代表）

授業用E-mail

[inoue@sakushin-u.ac.jp](mailto:inoue@sakushin-u.ac.jp)